

■登壇者(※敬称略、登場順)

福住 廉(ふくずみ・れん)

1975年東京都生まれ。美術評論家。著書に『今日の限界芸術』(BankART1929)、共著に『路上と観察をめぐる表現史～考現学の「現在」』(フィルムアート社)、『シルバーアート老人芸術』(朝日出版社)ほか多数、「artscape」、「共同通信」、「Forbes Japan」で展評を毎月連載しながら、『美術手帖』、『図書新聞』、各種図録や作品集などに寄稿する一方、展覧会の企画も手がける。現在、東京藝術大学大学院、女子美術大学、多摩美術大学非常勤講師。

日比野克彦 (ひびの・かつひこ)

1958年岐阜市生まれ。アーティスト。東京藝術大学先端芸術表現科教授。東京藝術大学大学院修了。近年、地域の人々と制作を行いながら、受け手の力に焦点を当てたアートプロジェクトを展開している。主なプロジェクトに、「明後日新聞社文化事業部」、「明後日朝顔プロジェクト」、「アジア代表日本」、「種は船」、「海底探査船美術館」など。12年国民体育大会「ぎふ清流国体」全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」において総合プロデューサー、13年「六本木アートナイト」アーティストティックディレクターを務める。その他 現在、日本サッカー協会理事・東京芸術文化評議会評議員・岐阜県美術館館長を務める。

齋藤陽道(さいとう・はるみち)

1983年東京都生まれ。都立石神井ろう学校卒業。第33回キヤノン写真新世紀優秀賞、平成26年度日本写真家協会新人賞受賞。写真集『感動』(赤々舎)、『宝箱』(ぴあ)、『写訳 春と修羅』(ナナロク社)。あらゆる種別や境界を超えて、真っすぐに対象と向き合い撮影された写真を特徴とする。

中村政人(なかむら・まさと)

1963年生まれ。アーティスト。東京藝術大学教授。「美術と社会」「美術と教育」とのかかわりをテーマに様々なアートプロジェクトを進める。2010年6月にアーティスト主導による民設民営のアートセンター「3331 Arts Chiyoda」を立ち上げる。11年より震災復興支援「わわプロジェクト」を始動、12年より東京・神田を舞台にした「トランスアーツーキョー」を開始。15年10月には3331 Arts Chiyodaにて個展『明るい絶望』を開催。平成22年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を芸術振興部門にて受賞。

■各館ローカルプロジェクト in 3331

TURN展では、アール・ブリュット美術館4館の特性や地域性を活かした「ローカルプロジェクト」を実施してきました。「ONE DAY TURN PARTY」の会場では、そのプロジェクトを体験できます。

藁工ミュージアム (高知)	日比野克彦が「ワークスみらい高知」で就労体験をした際に名付けた幻の洋菓子「うさぎのしっぽ」を、当日限りの限定販売！
	TURN展出品作品(一部)や、当日のイベント・ブースを鑑賞し、参加者同士で俯瞰的にTURNを捉える美術鑑賞ワークショップ。(ファシリテーター:平野智紀)
はじまりの美術館 (福島)	地元の店員さんにコーヒーの淹れ方やミックスジュースの作り方をまねぶ(学ぶ)「まねぶカフェ」シリーズが3331に登場。
	はじまりの美術館で好評を博したアイロンビーズワークショップ。つい夢中になってしまう懐かしい工作が体験できます。
みずのき美術館 (京都)	1964年に始まったみずのき絵画教室。これまで制作された作品が、施設や指導者の歴史と共にデジタルアーカイブされました。会場内で自由に閲覧できます。

■<関連企画>齋藤陽道展「なにものか」

写真家・齋藤陽道がアール・ブリュット美術館4館を巡り、そこにまつわる施設・ひと・食事・空気・土地に触れながら写した写真を展示します。

会期:2015年11月8日(日)～ 11月23日(月・祝) 12:00 ～ 19:00(最終日は17:00まで)

会場:3331 Arts Chiyoda 1F 3331ギャラリー

料金:無料

主催:日本財団

協力:TURN展実行委員会、3331 Arts Chiyoda



参考作品：

(左上) 齋藤陽道《みずのきのなにものか》2014年

(右上) 齋藤陽道《とものつのなにものか》2015年

(左下) 齋藤陽道《はじまりのなにものか》2015年

(右下) 齋藤陽道《わらこうのなにものか》2015年